

**日本国際情報学会**  
**国際開発研究部会 2023年度 第3回 研究報告会 報告書**

国際開発研究部会 2023年度第3回研究報告会を下記のとおり開催しました。

記

**1 部会目的**

国際開発課題を経済開発と社会開発の両面から捉えて、ミレニアム開発目標(MDGs)や持続可能な開発目標(SDGs)を含む国際開発枠組み及び人間の安全保障・人権・社会開発のような開発理念をアプローチし、そして貿易と開発、技術移転・技術開発の促進、産業集積と地域経済発展、貿易障壁の削減の諸課題を経済学的な視点から理論・実証・政策の側面から研究する。

**2 開催日時**

2024年(令和6年)2月24日(土) 15時00分～17時30分

**3 開催会場**

日本大学経済学部7号館7061教室(対面)とZoom(オンライン開催)ー同時開催ー

**4 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略)**

(1) 開会挨拶：**前野 高章** 日本大学通信教育部教授 **【オンライン参加】**



本日、3名の方に報告していただく。  
報告後、参加者との活発な意見交換を期待したい。  
本部会は来年度も続けていく予定です。引き続き  
参加していただけたらと思っています。

(2) 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕

司会 田中 隆 金城大学

第1報告（15：05～15：45）

【対面】

報告者：菊地原 正彦 日本大学大学院総合社会情報研究科後期課程

テーマ「ベトナム工業団地における立地優位性とインフラ整備について」



ベトナム工業団地における立地優位性について、先行研究の成果を踏まえ、ベトナムの港湾、空路、道路、鉄道のインフラ整備状況を分析した。結果、工業団地建設に最適な地域は、港湾施設が整備されている地域であり、施設の規模や整備状況からすれば南部地域に立地優位性があると指摘した。

第2報告（15：50～16：40）

【対面】

報告者：小林 恵美 北海学園大学大学院経済学研究科 修士課程

テーマ「ブラジルにおける連帯経済とフェアトレードの進展について」



ブラジルの連帯経済の形成史について整理したうえで、代表事例としてフェアトレードを取り上げ、社会的にも横の連帯・連携する力が基盤にあり、それがブラジルのフェアトレードの独自性であると指摘した。

### 第3報告（16：45～17：25）

【対面】

報告者：泉谷 清高 日本大学大学院総合社会情報研究科後期課程修了・博士  
テーマ「化石エネルギー枯渇後のエネルギーコスト」



世界のエネルギー供給の展望を確認したうえで、化石燃料の枯渇時期を見据えたCO<sub>2</sub>排出量を最小化させるエネルギーが必要との前提に立ち、CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：二酸化炭素回収・貯留）技術を使い、化石燃料との組み合わせで当面エネルギー利用が進むと指摘し、様々な視点から対策を研究していきたいとした。

（3）閉会挨拶：陸 亦群 国際開発研究部会長・日本大学経済学部教授



報告者の皆様、お疲れ様でした。  
また、今回は通信教育部の学生の皆さんに多数参加していただき、感謝している。  
今回の発表のように、様々な問題を取り上げ検討し、行動していくことが大切である。また単焦点ではなく、多様な角度からアプローチしていくことが重要だと思う。  
アカデミックなスタンスを保ちつつ、来年度も活動していきたい。

## 5 参加者

28名（会場19名、ZOOM9名）

